

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Kid's Club

公表日 2026年 3月 9日

利用児童数 2026年3月2日 13名

回収数 11

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	10			1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10			1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	1		2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	1		1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10			1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	1		1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	3		1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	4	3	2		地域の子どもたちとあらかじめ予定を立てて関わる時間は設けていませんが、公共の場で関わる機会があれば、一緒に遊ぶこともあります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10			1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	1		1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	3	2	2		ご家族支援を含め、日頃のお子さまの様子や健康・発達について、十分な共通理解ができていないと感じさせてしまっていることや助言が十分でない事を真摯に受け止めております。今後は、より丁寧に分かりやすい情報共有を心がけ、保護者の皆さまと安心してお話しできる機会を大切にまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9		1	1		また、ご家族への支援は、お子さまの支援をより充実させるうえで大変重要であると考えております。今後は、保護者会や交流会の開催、情報交換の場の設定など、保護者の皆さまがつながる機会を検討してまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	2	1	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	1		1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	5	1	1			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	1		1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	2		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	1		1		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	2		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	3		2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10			1		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10			1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10			1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	10			1		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Kids Club				公表日	2026年3月9日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		子ども達が転ばないように、床に物を置かず走り回ったりできるようにしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		クッションルームがあるため、クールダウンできる時間を作れるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			その日のスケジュールを確認し、個々の支援について共有し、職員が同じ方向性をもって対応できるようにしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2		準職員と正職員の退勤時間が異なるため正職員で共有したものを次の日に報告しているが、確実に共有できるよう工夫を行う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		特別に予定を立てて関わる時間は設けていないが公共の場所での地域のこども達と一緒に遊ぶ時もある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5		個別に具体的に対応する事はあるが研修という機会は設けることが出来なかったので検討する。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機を設ける等の支援をしているか。	2	5		年度末の保護者会は開催できたが年間を通して開催できる計画を検討する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		職場内から持ち出さないルールを徹底している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7				

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Kid's Club		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達の「やってみよう」「できるようになりたいこと」を中心に活動を展開できていると感じています。これは、職員一人ひとりが子ども達の思いに丁寧に耳を傾け、個々の気持ちを汲み取りながら、その本当の思いを受け止めようとする姿勢を大切にしているからだと思います。	子ども達との遊びの中では、職員も共に楽しむ共感的な姿勢を大切にしながら関わっています。また、子ども達の日々の様子については職員同士で共有し、それぞれの視点から必要な支援を考えるとともに、子ども達の願いをどのように実現していくかについても職員間で話し合いを行っています。	子ども達の発想を大切に、活動をよりダイナミックに楽しめるよう、子ども会議を開催しながら、子ども主体の活動となるよう取り組んでいます。
2	子ども達の本当の思いを知ることができるよう、職員は日々観察力を持って関わっています。嬉しい、楽しい、嫌だ、辛いといったその時々のお気持ちを丁寧に受け止めることで、思いが伝わる安心感や、自分の気持ちを伝える安心感を子ども達が感じられるような関わりにつながっていると考えています。	子ども達と関わる際には、目を見て表情やサイン、行動を丁寧に確認し、本当の思いを支援者が受け止められるよう心がけています。また、思いを十分に理解できなかった場合には職員間で共有し、そこまでの過程を振り返りながら分析し、理解を深めたくて支援につなげるようにしています。	子ども達の思いを見落とすことがないよう、職員間で共有する時間を必ず設け、それぞれの気づきや関わりを共有しながら支援につなげていきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子ども達の好きなことややってみようことを聞き取りながら個別支援計画を立てていますが、学齢期の楽しさを中心とした内容になりがちな面もあります。そのため、今後は将来を見据えた視点も取り入れた支援内容の検討が必要であると感じています。	その時々の子どもの思いを第一に考える関わりを大切にしていますが、それが優先されるあまり、将来を見据えた視点で十分に取り入れられていない点が課題であると感じています。	モニタリング時の項目内容を5領域に加えて充実させ、将来に向けて必要な支援について、ご本人やご家族と共に考えられるよう取り組んでいます。
2	保護者同士が関わりを持つ機会を、十分に設けることができていない点が課題であると感じています。	土曜日の活動を実施していないことから、平日に保護者の方向士の時間を設ける際に調整や工夫が必要です。	今後は保護者同士が情報交換できる機会づくりを検討していきたいと考えています。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Little Kid's Club

公表日 2026年 3月 9日

利用児童数 2026年 3月 2日 15名

回収数 12

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11			1	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11			1	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10			2	・実際に活動を見ていないので、わからない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11			1	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12				・よく理解し作成されていると思います。 ・子どもの様子をよく見て明確な計画を立てていただいています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12				・具体的でわかりやすい計画になっていると思います。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10			2	・色々な活動をしてもらっているなと思います。 ・まだ通い始めて日も浅いのでなんとも言えない。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	1	1	1	・予定を立てて地域のこども達と交流する場は設けていませんが公共の場に出かけた時は一緒に遊ぶ機会につなげるようにしています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1		3	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	12				・その日あった事を口頭や連絡帳を通して伝えてくれるので助かります。 ・個人記録票を通して様子を伝えて頂いています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12				・心配や分からない事に対して教えてもらえて心強いです。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	1	2	2	・現在、保護者同士やきょうだい同士の交流の機会を十分に設けることができずおらず家族支援やきょうだい支援は大切な取り組みであると認識しております。今後の重要な検討課題として受け止め、実施に向けて前向きに検討してまいります。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12					・相談等すぐに対応してもらっている。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12						
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	1	1	3		・メールで連絡が来て、行事等わかりやすい。	ブログ等で活動内容を報告できる機会を増やせることを検討していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11			1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9			3		・マニュアルを紙ベースで配布してくれるのが助かります。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	1		4			
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	1		2			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			1		・小さなケガでも説明してくれている。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11			1		・職員の方々との信頼関係がしっかりと築けているなど子どもを見ていてわかります。 ・楽しそうに安心して通えています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11			1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	11			1		・満足しています。 ・いつも相談事等に迅速且つ親身にご対応していただき大変感謝しております。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Little Kid's Club		公表日		2026年 3月 9日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		発達の段階に合わせてプレイルームを分けている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7				

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			勤務終了時間が違いがあるため、情報共有が出来ないこともあるので改善したい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7		地域のこども達と関わることは今までできていないので連携圖との交流を検討していく。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5		今年度、保護者への研修等、開催できなかった為、来年度計画を検討する。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5		ご家族支援を含めきょうだいに対する交流の機会など提供できていない為、今後検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Little Kid's Club			
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日 ～ 2026年 2月 27日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日 ～ 2026年 2月 27日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 1日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	幼児期の子どもたちが安心して過ごせる環境作りに努め、愛情を込めた関わりを実践しています。	職員は、アイコンタクトを取りながら触れる位置に注意を払いながら、子どもが伝えたいことを最後まで丁寧に聞き取り、確認する姿勢を大切にしています。その結果、子どもの本当の思いや気持ちを理解できるよう努めています。	子どもたちに対応する際には、子どもの反応や表情も観察しながら、本当に伝えたいことを引き出す技術を職員間で共有・研修を実施していきます。
2	私たちは、ご家族の思いを支援の中心に置き、その思いから離れることのない支援を大切にしています。	そのため、ご家族から寄せられる不安や心配事については、必ず管理者へ報告・連絡・相談を徹底し、職員間で共有しながら早期の解決に向けて取り組んでいます。	職員研修の実施や事例検討を通して職員の資質向上に努めていきます。また、ご家族との面談や日々の連絡帳等を通して情報共有を行い、ご家庭と連携しながら、お子さま一人ひとりに合った支援につなげていきます。こうした取り組みを通して、より安心して利用していただける支援体制づくりに取り組んで参ります。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	例年実施している保護者会を開催することができませんでした。保護者の皆さまとの直接的な意見交換や情報共有の場を持てなかったことは、事業所としての課題であると認識しております。	スケジュールの都合により、例年実施していた保護者同士で話し合う時間を設けることができませんでした。	今後は、感染症対策やスケジュール調整に十分配慮しながら、保護者会や個別相談の機会を確保し、より一層保護者との連携を深める取り組みを進めて参ります。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会が取れませんでした。	こども達が初めての場所を楽しめる準備や戸惑わないための準備をすることができませんでした。	協力園に依頼し、保育園等を訪問して子どもたちが遊ぶ経験を持てるよう、今後検討していきます。
3			